

2019年度 上武大学 大学院経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	国際取引法演習Ⅰ・Ⅱ		担当教員	吉田 一康		
	英語授業科目名	International Business Law Seminar I, II		単 位	4	学 期	通年
対象年次	1・2年次	クラス指定		他との関連	国際取引法特論A・Bを受講のこと		
履修条件	法律と英語の基礎的な知識を有し、法律英語に興味があることが望ましい。						
テーマ・副題	法律論文の作成方法を学ぶ						
授業の教育目的・目標	国際取引法等に関するテーマについての論文作成						
授業の理解度の到達目標	論文テーマを決定し、その関連資料を収集・分析できること。						
授業キーワード	国際取引法、国際商事仲裁法、国際私法、スポーツ移籍規定、スポーツ仲裁、比較法						
授業の内容	国際取引法等に関するテーマについての論文作成の指導。						
授業の方法	(1) 前半： 学生による情報収集・分析についての説明発表 (2) 後半： 説明発表についての討論・助言など						
授業展開	<p>以下の流れで、論文作成の指導を行います。</p> <p>(1) 論文テーマの分野決定 以下の3つから、論文テーマの分野・方向性を決定してもらいます。 ① いずれかの国の法律問題の分析 いずれかの国の国際取引法等に関する問題を選出して分析する。</p> <p>② 法律の比較 国際取引法等に関する問題について、自国の法律と他国の法律（留学生は日本法）の比較を行う。</p> <p>③ 国際条約の分析 国際取引法等に関する条約について分析する。</p> <p>(2) 論文テーマの設定 最初に、①論文で何を説明又は証明するか（テーマ）、②その意義は何か、③テーマについて予想される結果、④そのための情報収集の方法を明確にします。 可能であれば、発表場所や投稿雑誌といった目標を設定してもらいます。</p> <p>(3) 論文の書き方について説明 論文の書き方、日本及び各国の法律論文の引用の仕方、資料の収集方法等について技術的な説明をします。</p> <p>(4) 情報収集と読解 論文テーマに関する情報を収集して、分析してもらいます。</p> <p>(5) 発表と修正 分析した部分について発表してもらい、討論します。それに基づいて論文を修正していきます。</p> <p>(6) 論文の仕上げ・発表</p>						
成績評価方法	(1) 積極性 40～50% (2) 論文内容 50～60%						
成績評価基準	A 80%以上      B 70～79%      C 60～69%      D 59%以下（不合格）						
テキスト	各自の論文テーマに応じて決定。						
参考図書	佐野寛「国際取引法」（第4版）有斐閣 2014年（2500円＋税）						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	(1) 各講義で課された部分の論文の訂正（1時間程度）。 (2) 各自の論文に関するニュースを、新聞やインターネットなどで見た場合は、読んで概要を説明できるようにすること。						
学生へのメッセージ	元気があれば何でもできる！						
オフィスアワー	毎週、講義日は、新町キャンパス（担当の講義室、講師控室など）にあります。						
連絡先	電話番号	0270-32-1011(代)802号（伊勢崎）		メールアドレス	yoshidai@ic.jobu.ac.jp		
人数制限	なし。						